

Sustainability



株式会社ルミネ
サステナビリティ
2025年度活動レポート

the Life Value Presenter

LUMINE

1. トップメッセージ

世界に誇れる挑戦を通じて、
日本を、そして世界を元気に。
100年、1000年先の未来へ、
豊かさのタネをまき続ける。



株式会社ルミネ
代表取締役社長
Omote Teruyuki
表 輝幸

私たちルミネは、心豊かで持続可能な社会をデザインする挑戦を、これからもルミネらしく、感性豊かに続けてまいります。

2025年度は、新たな10年ビジョンと中期経営計画「SPIRAL2027 ～Global & Sustainable～」の実行をさらに加速させ、私たちの存在意義を問い直す一年となりました。

今、世界では価値観やライフスタイルが劇的に変化し、社会課題は複雑さを増しています。しかし私は、こうした混迷の時代だからこそ、日本ならではの美意識や精神性が、世界の未来を照らす大きな価値を持つと確信しています。

日本には、移ろう四季を慈しむ感性、他者を慮るおもてなしの心、そして自然と共生しながら価値を育んできた文化があります。古来より「三方よし」、さらには「五方よし」の精神で地域とともに歩んできた歴史は、まさに現代が求めるサステナビリティの本質そのものです。私たちは、この日本独自の価値観をルミネのフィルターに通し、新しい時代のスタンダードとして世界へ発信していきます。

ルミネは、単なる商業施設の運営会社ではありません。私たちは、人々の暮らしに新たな彩りを添える「ライフバリュープレゼンター」であり、街や地域の未来を共につくる「プラットフォーム」でありたいと考えています。2026年3月に全面開業を迎えた「ニューマン高輪」は、その象徴です。ここは商業の枠を超え、100年先の未来を見据えた「実験場」として、まだ見ぬ生活価値を探索し、都市の新しい豊かさを創造し続ける場です。

また、「ルミネ・ニューマン エシカーニバル」などを通じて、私たちが大切にしてきたのは「楽しさ」や「ときめき」を犠牲にしない社会課題へのアプローチです。サステナビリティとは、決して我慢や制約ではありません。それは、人の心を動かし、未来への希望を育む、最高にクリエイティブな挑戦であるべきです。

そして、この挑戦の真ん中にいるのは、常に「人」です。社員一人ひとりが自分らしく輝き、未知の困難を楽しみながら成長していく。そのポジティブなエネルギーが、お客さまや地域へと伝播し、幸せの循環を生み出していく。この力こそが、ルミネの揺るぎない原動力です。

お客さまからいただく「ルミネの挑戦に勇気もらっている」という言葉。それこそが、私たちの羅針盤です。「お客さまの思いの先をよみ、期待の先をみす。」というルミネ理念を胸に、私たちは常に期待を超える価値を創造し続けます。

世界情勢や環境が激しく揺れ動く今、ルミネは歩みを止めません。お客さま、出店者のみなさま、地域のみなさま、そしてルミネを愛するすべてのパートナーとともに、「ルミネコミュニティ」として、まだ見ぬ未来を切り拓いていきたい。世界に誇れる挑戦を通じて、地域を、日本を、そして世界を元気に。100年先、1000年先の心豊かで持続可能な未来を、皆さまでともに創り上げてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社ルミネ 代表取締役社長 表 輝幸



2. コーポレートメッセージ

わたしらしくをあたらしく

ますます価値観が多様化するお客さまに向けて、
これからのルミネが約束するのは
「ルミネならではの」ライフバリューのさらなる追求です。

自己表現の手段が多様化する時代です。
「わたしらしさ」は、もっとフレキシブルに、もっと自由になっていい。
女性たちの生き方が多様化する時代です。
なにを選び、なにを選ばず、どんな生き方をしていくのか。

あなたの拡張は、やがて社会の希望となります。
自ら望んだ「わたしらしさ」を手にするように、
「わたしらしい生き方」をあきらめないでいように。
ルミネは多様な選択肢を生み出しながらこたえていきます。

「わたしらしさ」のアップデートは、生きるエネルギーです。
選択肢をあたらしく。価値基準をあたらしく。自由範囲をあたらしく。
ひとりひとりのお客さまの「わたしらしく」をサポートすることで、
ルミネは社会に、未来に、好循環を広げていく。

今日も、明日も、10年先も、
あなたの「わたしらしくをあたらしく」を、
ルミネは真横から応援していきます。



3. ルミネ理念

the Life Value Presenter

お客さまの思いの先をよみ、 期待の先をみます。

私たちのお客さまは、わざわざ私たちのルミネまで足を運んでくれる方々です。
お客さまは、自分の欲求だけでなく、
予感や想像力を満たしてくれる何かをルミネに求めます。
何かを見つけたい、何かに触れたい、何かにときめきたいのです。
お客さまの思いは、さまざまです。
ルミネは、その何かに触れる商品を用意しなければなりません。
いや、そこに留まらずに、お客さまの潜在的な欲求を見抜くチカラが必要です。
その道の専門家である私たちは、他の誰よりも適切な道案内ができるだけでなく、
お客さまの自己発見・自己実現のサポーターになれます。
ルミネは、お客さまのパートナーとして、期待に応えるだけでなく、
期待を超える感動を理念にします。



4. ルミネのサステナビリティ方針

WE ILLUMINATE THE FUTURE

わたしが選ぶ毎日が、
わたしたちの未来をつくっていく

WE ILLUMINATE
THE
FUTURE

わたしが選ぶ毎日が
わたしたちの未来を
つくっていく



毎日は選択の連続。

選ぶもののひとつひとつが積み重なって
わたしらしさとわたしたちの未来をつくっていく。

共感できたり、応援したくなるストーリー。
選んだなにかを通して、わたしたちは繋がっている。
わたしのためにが、誰かのためにもなっているなら
それはとてもうれしいこと。

あたらしい出会いを通して世界を広げ、
わたしをアップデートしながら明日のために選ぶ。

その先にある未来が、人にも地球にも
やさしい世界になりますように。

5. サステナビリティの3つの取り組みテーマ

みなさんと一緒に一歩ずつでも前に進んでいくために
ルミネだからできることを考え、共に歩み続けます。



お客さまや従業員、地域の方々をはじめ、
関わる人すべてが心地よく過ごせる環境
づくりに努めます。女性をはじめ、あらゆる
人がもてる力を制約なく発揮して成長・活躍
できる場を共創し、幅広い世代の人たちが
経験をシェアできるようにしながら、次世代の
豊かな未来をつくります。

多様性の組み入れ

女性の活躍推進

よりよい働き方の追求

高齢化と人材不足への対応



WE ILLUMINATE
COMMUNITY
& CULTURE



地域を繋ぎ
文化を育む

地域社会と共生し、地産地消の推進や
ものづくりを支援するとともに、さまざまな
地域の魅力を発信し、素敵なヒトやモノ
を繋ぐ架け橋となります。世代やエリアを
越えて、人々の交流を生み出す開かれた
コミュニティを形成し、街を活性化しながら
新たな文化を育みます。

地域社会との共生

持続可能なまちづくり

人との「つながり」の創出

デジタル化の推進



サービスやものが生まれる過程にも配慮し、
廃棄物を削減、エシカルでサステナブルな
消費と循環型社会を推進します。環境に関
する学びの機会や、行動を変えるきっかけを
得られる場を提供し、クリーンエネルギーによ
り環境負荷を低減、カーボンニュートラルの実
現を目指します。

サステナブル消費の拡大

資源循環、廃棄物 / 食品ロスの削減

気候変動への取り組み

サプライチェーンの環境 / 人権問題への対応



6. 2025年度TOPICS

ルミネ・ニューマン エシカーニバル

“季節季消”がコンセプト ルミネが提案する新しいショッピングの形



「エシカーニバル」は「エシカル」と「カーニバル」の造語です。ルミネは、セールを前提とした大量生産による大幅値引き販売や余剰在庫の廃棄等に対して課題感を持ち、価値ある商品を丁寧な接客でご提案するプロパー販売の強化を推進してきました。

昨今は、サステナブル意識の高まりもあり、商品を吟味され納得感があるお買い物を志向されるお客さまがこれまで以上に増えています。

セール期においても、値引きを訴求するだけでなく、複合的な価値の提案が求められています。そのような背景のもと、値引き販売だけにフォーカスするのではなく、「季節を楽しみ尽くす」「季節季消」をコンセプトに、10年ビジョンのテーマである「グローバル&サステナブル」を具現化する取り組みとして、2025年1月に「ルミネ・ニューマン エシカーニバル」を新しく立ち上げました。

今後、夏と冬の年2回、約1カ月間を強化月間として実施し、楽しみながら豊かな未来をみんなで作っていく施策として継続していきます。

大船ルミネウィング

エシカルショッピングリレーの開催と市と協業したエシカル消費の浸透

「お買い物を通じて楽しく自然にエシカルに触れていただく」ことを目指し、「エシカル」を5つのカテゴリ（「アップサイクル」「オーガニック」「フェアトレード」「ローカルティ」「ドネーション」）に分類し、対象商品のご購入でノベルティをプレゼントする「エシカルショッピングリレー」を開催しました。また、鎌倉市とのワークショップ実施や地元エシカルショップのPOPUPなど、地域のみなさまとの協業にも挑戦しエシカルの輪を拡大しています。

実施施策には、想定を上回る高評価をいただき、多くのお客さまにエシカル消費をお楽しみいただきました。



6. 2025年度TOPICS

ルミネ・ニューマン エシカーニバル

“季産季消”がコンセプト ルミネが提案する新しいショッピングの形

ルミネ新宿

ショップとの協業による 新たなエシカル価値の提案

在庫消化やB品販売などの価格訴求だけではない「+αのサステナビリティ価値創出」のため、サステナブル商品の提案や体験型イベントをショップとともに企画。ショップと何度も対話を重ねることでエシカーニバルに共感いただき、ルミネとショップのシナジーを創出しました。環境配慮商品や衣類の循環などの多様なテーマを、お客さまに「楽しみながら触れていただく」体験（ワークショップ・トークショーなど）を通して届け、お客さまの行動変容のきっかけづくりに繋げました。



ルミネ立川

季節を楽しみ尽くす 地域の魅力発信

ファッション・コスメ・食品など多様なショップが揃う館の特性を活かし、行政や地域施設、ショップと連携して、エシカルを身近に感じていただける機会を創出しました。館内では、スタンプラリー、アウトレット品・アーカイブ品を扱うマルシェ、手持ちのアイテムを活かすコーディネートなど、多様な切り口でエシカル消費を提案。また、立川産野菜を使ったぬか漬け作りワークショップや、立川市の美術館「PLAY! MUSEUM」企画展との連携、伊勢丹立川店とのPOPUPを通じて地域の魅力も発信しました。



ルミネ北千住

エシカーニバルマルシェ

ルミネ北千住では、集客力のある食品フロアの強みを活かし、「エシカーニバルマルシェ」を開催しました。「かたちより、おいしさで選ぶ。」（規格外品）「旬のひとかけらを味わう。」（試食）「せんじゅの”いいもの”に触れる。」（北千住限定商品）「季節を楽しむって実はエシカル」（季節商品）の4つのカテゴリで、商品やイベントを実施。日々の食の選択からお客さまにエシカルを身近に感じていただける機会を創出しました。



6. 2025年度TOPICS

anewloop

いつも、いつまでも、ファッションを楽しむために。ルミネの資源循環サービス



服とわたしのあたらしい未来へ

大切に手放せば、ファッションは巡り
次の誰かに愛されたり、新たな資源になる。

お出かけのついでに、ショッピングの合間に、
服や小物を次のサイクルに繋げるという、あたらしい選択肢。

クローゼットも心も軽やかに。
捨てない社会への循環がここから始まる。
いつも、いつまでも、ファッションを楽しもう。

anewloopとは

anewloop(アニューループ)は、ルミネ・ニューマンのリアル店舗及びアイルミネで、お客さまの不要になったファッションアイテムを買取・回収し、リユース・リサイクルにつなぐ、資源循環のプラットフォームサービスとして2024年度よりスタートしました。ルミネはお客さまの身近な場所に「循環のインフラ」を構築することで、循環型社会の実現に貢献してまいります。

サービス開発の背景

日本国内で家庭から排出される衣服の約68%が廃棄処理されていることが社会課題となっています。(*1)ルミネはこの課題に取り組み、「ファッションを楽しむこと」と「地球環境に与える環境負荷を減らすこと」を両立したいと考え、「新しい循環」を意味するanewloopのサービスを開始しました。

*1 環境省_サステナブルファッションのWEBサイト
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/ より



anewloopの実績について(2025年度)

総回収量 **18t**



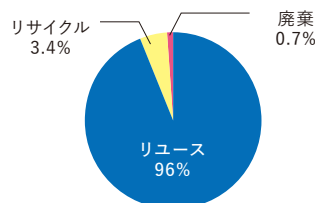
服
約**72,000**着分
*服1着=0.25kg換算

CO2排出削減量 **12t**



ペットボトル(500ml)
約**120,000**本製造分

資源循環率 **99.3%**



■anewloopサービス開始(2024年6月～)以降の累計総回収量

総回収量 約**20.3t**

総CO2排出削減量 約**13.4t**

6. 2025年度TOPICS

anewloop

いつも、いつまでも、ファッションを楽しむために。ルミネの資源循環サービス

アーティストと協業した回収ボックスの制作

anewloopでは、アーティストの江頭誠さんとの協業で、お客さまから衣料品をお預かりするための回収ボックスを制作しました。使われなくなった毛布からアート作品を作り、新たな価値を生み出す江頭さんの創造力をお借りすることで、単なる「不要になった衣料品を投函する箱」ではなく、anewloopが提供する資源循環のストーリーを体感していただける特別な回収ボックスをつくることでアートがもつ「ワクワク感」や「楽しさ」を回収ボックスと掛け合わせ、お客さまに楽しみながら資源循環の輪に参加していただけるような工夫を施しています。



ニューマン高輪

街の中で「小さな循環型社会」づくり anewloopの新たな形

anewloopをニューマン高輪ではさらにアップデートし、(株)ティンパンアレイ、(株)キュアグループ、(株)アーバンリサーチと共創し、ファッションアイテムの回収～再生布制作～商品化～販売までがすべて高輪の街の中で展開される実証実験を行いました。地域を代表して高輪中学校・高等学校の生徒が回収した不要になった衣料品やJR東日本の技術職社員が着用していた制服を、特別な技術で再生布へリサイクルしました。地域と共に制作した商品はTHE GOODLAND MARKETにて9月の開業時にお披露目・販売をしました。お客さまからは「リサイクルした生地とは思えない」といったポジティブなご意見をいただきました。



ルミネ荻窪

女子美術大学とのコラボレーションによるアート展 "エシカルパークへようこそ"

anewloopで回収した衣料品を素材に、杉並区にキャンパスを構える女子美術大学と協業して展示企画を実施しました。回収した衣料品を用いて制作した立体作品や、エシカルをテーマにしたアニメーション作品を展示。役目を終えた衣服がアートとして生まれ変わるプロセスを通じて、循環や創造の可能性を発信しました。展示には、ワークショップでお客さまに制作いただいた作品も含まれており、楽しみながらエシカルについて学べるインタラクティブな体験となりました。



6. 2025年度TOPICS

体験からはじまる コスメの新しい循環

体験を通して自分ごと化する。コスメ廃棄削減に向けた取り組み

コスメ廃棄削減に向けた取り組み

コスメの廃棄は、まだまだあまり知られていない環境問題のひとつです。「生産過程などでメーカーから出るコスメの中身(パルク)の廃棄量は国内の大手メーカー5社だけでも年間2万トンにのぼる」(*1)ともいわれています。

ルミネではこのコスメの廃棄問題に向き合い、サステナブルな未来づくりに向けた取り組みを継続的に進めています。その一環として、品質には問題がないものの販売機会を失った“わけありコスメ”を販売する「コスメリゴランドストア(Cosme Re-Go-Round Store)」をサステナブルコスメアワードとの共催で開催してきたほか、エシカーニバル期間中には、ルミネ・ニューマン各館で不要コスメの回収や分別体験、アップサイクルを行う「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」も実施。

お客さまが楽しみながら、コスメの循環を身近に感じられる機会を重ねてきました。ルミネはこれからも、体験を通して新しい価値へと生まれ変わらせる循環型社会の実現に向けてチャレンジを続けていきます。



*1参考記事 [\(毎年2万トン以上のコスメが捨てられる時代に私たちができること | COLOR Again開発秘話 | 株式会社モーンガーのストーリー | PR TIMES STORY\)](#)

ルミネ新宿

コスメリゴランドストア supported by Cosme Kitchen

コスメリゴランドストアは、外装に汚れやキズがある商品や、リニューアルに伴い店頭での販売が終了した商品など、これまでお客さまの手に届きにくかったコスメを特別価格で提供するポップアップストアです。

2025年1月より、「人にも地球にもやさしいコスメ」を表彰し、化粧品および衛生品分野全体のサステナビリティ向上を推進しているサステナブルコスメアワードとの共催で開催してきました。

3回目となる2026年1月は、新たにルミネ×Cosme Kitchen×サステナブルコスメアワードの特別編としてルミネ新宿で展開しました。売り場では、廃棄されるはずだったコスメをいくつ救済できたかを可視化する仕掛けに加え、メーカーに保管されていたものの、価格を付けて販売することができないコスメをギフトとして配布し、課題の認知拡大につなげました。これまで3回のイベントを通して、のべ約2,400人のお客さまにお買い上げいただき、約5,000個のコスメを廃棄から回避することができました。



6. 2025年度TOPICS

体験からはじまる コスメの新しい循環

体験を通して自分ごと化する。コスメ廃棄削減に向けた取り組み

コスメ回収アップサイクルキャンペーン

2025年夏・2026年冬のエシカーニバル期間中、ルミネ・ニューマン各館で、不要になったコスメを回収する「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」を実施しました。

お客さまからお持ちいただいたコスメは、アップサイクルの先駆者「SminkArt(株式会社モーンガータ)」の手によって、絵具や雑貨、印刷インキ、建材などに使われる新たな色材へと再生されます。また、コスメのアップサイクルには中身と容器の分別が欠かせないため、会場では分別体験ワークショップを開催。「かき出す作業が楽しくて夢中になれる」「自分で捨てる時も中身と容器を分けたい」など、循環を自分ごととして捉えるきっかけとなりました。さらに冬のキャンペーンでは、夏に回収したコスメの一部を使った色材で着色・成形した「ルミ姉キーホルダー」のガチャガチャ販売も実施。容器は粉碎後、デザインマテリアルとして再構築され、ルミネ本社応接室のテーブルへと生まれ変わりました。回収したコスメは、社内表彰状の印刷にも活用されるなど、さまざまな形で新しい価値を生み出しています。



コスメ回収アップサイクルキャンペーンの実績について(2025年度)

重量約 **1.0t**
(容器+中身)



コスメ
約**47,200**個分

CO2排出削減量 **0.8t**



ペットボトル(500ml)
約**8,000**本製造分

焼却処分と
比べた削減率
84.7%

ルミ姉アップサイクルキーホルダー



ガチャガチャ販売
950個

売上金全額を
長年国内外で
女性支援に取り組む
「公益財団法人
プラン・インター
ナショナル・ジャパン」
に寄付しました。

2025年度に回収した不要コスメの数は、約47,200個、重量にすると約982kg(容器+中身)を記録しました。

コスメ回収によって廃棄を回避した結果、焼却処分と比べて約826.1kgの二酸化炭素排出量を削減できることになり、84.7%の削減率を達成しました。

6. 2025年度TOPICS

サステナブルイーティングの取り組み

地域とのつながりを大切に。地球とわたしの未来を育む、豊かな食文化へ

食の分野では、農業体験を通じた地域パートナーとのフィールドワークなど、対話を重視した課題解決に取り組んでいます。
スタッフ向けアプリを活用した「フードロス削減」の試みのほか、各館でお客さまに向けて「かたちよりおいしさで選ぶ」
不揃い商品の提案など、日常から参加できるエシカル消費の取り組みを拡大しています。

LUMINE AGRI MARCHE (ルミネアグリマルシェ)

ルミネアグリマルシェは“愛せるものを食べましょう”をコンセプトに、JR新宿駅ミライナタワー改札外で毎月開催される都心型マルシェです。首都圏で暮らすお客さまのライフスタイルに寄り添い、食の多様性を取り入れた心豊かな日常を提案すべく、全国各地から旬の野菜・果物やこだわりの加工品を販売しています。2025年度は延べ約100団体の生産者が出店し、約3万4千人の方にお買い上げいただきました。生産者と直接会話できる交流拠点として、土に根ざしたストーリーとともに日本各地の魅力を届けています。



安曇野市×あずさマルシェ in LUMINE AGRI MARCHE

長野県安曇野市と連携したマルシェを新宿駅で開催。JAあづみ協力の下、列車荷物輸送サービス「はこピュン」を利用し、朝採れスイートコーン・りんご・ぶどうを特急あずさで直送販売。収穫から輸送までを追った動画を制作し、商品のストーリーと産地の魅力をPRしました。

マルシェは2022年度から継続開催し、2025年度は開店前から行列ができる新宿駅恒例の人気企画へと成長しました。



フードロス削減に向けた ショップスタッフ向けサービス

ルミネ大宮、ルミネ立川、ルミネ荻窪では、ショップスタッフ向けアプリを活用し、ショップでロス(廃棄)となる可能性のある商品をスタッフ向けに特別価格で販売する「フードレスキュー」施策を実施しました。さらにルミネ荻窪では、スタッフのみなさまが実践している「エシカルアクション」をポスターに記入して、スタッフ同士で紹介する企画も実施。身近なアクションを共有することで、エシカルを自分ごととして捉えるきっかけとなりました。



7. PEOPLEの取り組み



PEOPLE

ひとが輝けるルミネへ



Beyond LUMINEST. Creating the Future.

ルミネ理念を実践し、お客さまに新たなライフバリューを提案するショップスタッフを「ルミネスト」として認定する「ルミネスト認定制度」。この取り組みは2005年からスタートし、2025年に20回目を迎えました。

JWマリオット・ホテル東京で開催した「ルミネストセレブレーション2025」では、ルミネストゴールド認定式に加え、歴代ルミネストゴールドの登壇・スピーチや「ルミネストアカデミー」のパネルディスカッションなどを実施し、ショップスタッフに必要な4つの資質である「精神」「感性」「理論」「技術」を改めて共有するとともに、ルミネストがこれまで大切にしてきた、お客さま一人ひとりに寄り添う接客の価値を見つめ直す機会となりました。20回目という節目に合わせ、ルミネストロゴも刷新し、セレブレーションの場でお披露目しました。



パーソナルスタイリングサービス 「わたしらしくをあたらしく」が広がる可能性

ルミネ・ニューマンのショッピングをさらに充実した体験にするために、不定期で「パーソナルスタイリングサービス」を実施しています。

経験豊富なスタイリストがAI骨格診断や事前カウンセリングでお客さまの特性を把握し、複数ショップをアテンドしながらブランドを越えたスタイリングを提案します。

スタイリストは、ルミネが運営するジョブマッチングコミュニティ「Luminers」に登録しているスタッフも在籍。お客さまの「わたしらしくをあたらしく」するお手伝いをするとともに、ショップスタッフの活躍のフィールドを広げ、多様な働き方と成長機会を創出します。



7. PEOPLEの取り組み



Luminers

Luminersは「はたらく人とはたらく場の幸せな関係はきっとお客さまにも伝わり、笑顔のスパイラルが生まれていく。」というビジョンのもと、ルミネ・ニューマンで“わたしらしく”はたらかたい方とショップをつなぐ、ルミネのジョブマッチングコミュニティです。単日・短時間のジョブマッチングプラットフォームや、レギュラーワークを掲載できるジョブポータルサイト、運営委託サービスなど、店舗運営を多角的に支援し、ライフスタイルに寄り添ったはたらく方の選択肢を広げるサービスを提供しています。

2025年度は新サービス「Luminers Jobs」もスタート。中長期のレギュラー人材募集に対応し、採用の選択肢を拡充しました。また、ニューマン高輪ではPOPUP「GLOBAL LINK presented by LUMINE」にて、Luminersスタッフが集結。優れた接客力で店頭価値を最大化しました。パーソナルスタイリングイベントでの接客業務や、接客ベーシックチェックのアドバイザーを担当するなど、スタッフの「好き」や「得意」を活かし活躍いただきました。



ルミネ池袋

トークショー通じて広がる、 ショップスタッフの自己成長と働きがい向上への取り組み



ショップスタッフ間の交流促進と働きがい向上を目的に、スタッフパーティーを開催しました。ルミネ池袋開業15周年に合わせ、若手社員を中心に企画内容を大幅に拡充しました。

当日は、ルミネでの販売経験を経て現在はブランドディレクターとして活躍する三條場夏海さんをお招きし、「自分らしさや強みを見つける大切さ」「想いを届ける接客」「目標を公言し夢を叶える姿勢」の3点をテーマにご講演いただきました。

参加したショップスタッフからは、「生き方に感動した」「明日からの励みになった」「自己肯定感を高める方法を考える機会になった」などの声が寄せられ、スタッフ一人ひとりが前向きにキャリアを描くきっかけとなりました。

ニューマン新宿

心とからだを整える

「Wellness Weeeek!!」

季節の変わり目で心身が揺らぎやすい6月に、お客さまが自分らしく前向きに過ごすきっかけを届けるため、「Wellness Weeeek!!」を開催しました。「BEAUTY」「EAT」「RELAX」「LAUGH」をテーマに、メイク、食、香り、笑いなど日常に寄り添うコンテンツを実施。ショップや著名人と連携し、買い物だけでなく“自分を大切に時間”を提案しました。参加者からは「新たな気づきや発見を得られた」という声もあり、ニューマン新宿が心地よい体験と出会える場所であることを伝える機会となりました。



7. PEOPLEの取り組み



DEIBの推進

ルミネでは、サステナビリティ方針の取り組みテーマの1つ「PEOPLE」に基づき、DEIBを推進しています。

*DEIB…ダイバーシティ(多様性)・エクイティ(公平性)・インクルージョン(包括)&ビロギング(帰属)



「東京女性未来フォーラム2026」 基調対談への登壇

2026年1月26日に開催された「東京女性未来フォーラム2026」の基調対談に、社長の表が登壇しました。

「女性活躍の輪が創る未来：男女共に活躍する社会の実現に向けて今できること」というテーマについて、DEIBの考えに基づき、経営者として今求められていること、これから目指すべき未来像について発信しました。

国際女性デーイベントを ニューマン高輪で開催

2026年3月8日、国連の国際女性デーに合わせ、女性をエンパワメントするムードアップイベントを開催しました。本イベントはANAホールディングス・JR東日本PeerCrossとルミネの3社共催で行いました。社内起業家セッションや3社で活躍する女性社員のパネルディスカッションにルミネ社員も登壇しました。

国際女性デーのモチーフである黄色いミモザで彩られた会場で、当日は26社、約40名の方にご参加いただき、業種を超えた参加者同士のつながりや、互いを高め合うエネルギーに満ちた場となりました。



両立者の活躍支援

育児や介護と両立している社員の活躍支援について、制度の拡充や制度を利用しやすい組織風土づくりに取り組みました。2025年度には、本社勤務者のみ適用だったフレックスタイト制を支店勤務者まで対象者を拡大し、家族の体調不良等の突発的なスケジュール調整も行いやすくなり、より柔軟な働き方が可能となりました。また、毎年定期的に開催している育児中社員交流会は、育休中の社員や男性社員、育児未経験の社員も自由に参加できる場としており、相互理解につながっています。さらに、介護との両立については、全社員を対象に介護勉強会を開催し、介護に直面する社員およびその周囲の社員が介護と仕事の両立について知識を深める機会となりました。

プラチナくるみん、えるぼし

ルミネは、仕事と子育ての両立支援と、女性の活躍支援に優れた企業に与えられる「プラチナくるみん」、「えるぼし(三つ星)」を取得しています。

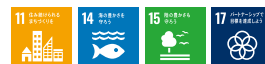


8. COMMUNITY&CULTUREの取り組み



COMMUNITY&CULTURE

ルミネが地域のコミュニティ拠点・文化発信基地に



100年先の豊かな未来に向けた、 地域社会と共に歩む、“まちづくり”への挑戦 ニューマン高輪 本格開業 2025年9月12日

ニューマン高輪は、2025年9月12日に「South・North」「LUFTBAUM」を開業し、ルミネ史上最大規模の館としてオープンいたしました。

「100年先のまだ見ぬ生活価値創造」を掲げ、国内外のリーディングパートナーとの共創を通じて、五感を刺激する新たな価値体験を提案しています。

日常をアップデートするショップや、開放的な眺望を誇るレストラン、そして感性を刺激する体験をそろえ、周辺に暮らす人、働く人、訪れる人それぞれのシーンに寄り添うひとときを提供。都心の上空約150mに広がる「LUFTBAUM」では、自然や日本の四季を感じられる空間づくりにも取り組んでいます。

高輪ならではの国際性と洗練が息づく空間で、日常のリズムに心地よい余白や発見、ときめきをもたらし、暮らしをより豊かに彩る価値の創出を目指します。

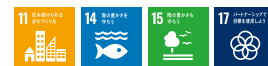


未来と人が集う、都市のコミュニティビレッジ 「MIMURE」オープン 2026年3月28日

ニューマン高輪最後の開業エリアである「MIMURE(ミムレ)」は、「100年先も続く都市のコミュニティビレッジ」をコンセプトにしたエリアです。名称には「未来」と「群れる」という意味が込められており、商業施設でありながら、単に買い物や食事を楽しむ場にとどまらず、人と人、人と地域、人と未来の暮らしがゆるやかにつながる“まち”のような場を目指しています。館内では、食や学び、文化、交流を通じて、日常の中に新しい気づきや発見をもたらす体験を展開します。循環型ファーム「AGRIKO×MIMURE BOTANICAL Lab」では、植物と魚が共生する仕組みを身近に感じながら、食の循環や生命のつながりを学ぶ機会を提供。また、暗闇の中で感覚を研ぎ澄ませる「Dialog in The Dark 5-1=∞ Lab.」など、感覚と向き合い対話を楽しむ「究極の憩い」の場も展開しています。MIMUREは、多様な人々が集い、対話し、共に価値を育てていくことで、100年先の豊かな未来につながる新しい日常を提案していきます。



8. COMMUNITY&CULTUREの取り組み



「いつもの道が、おいしい寄り道。」

JR有楽町駅 銀座口にルミネストリート グランドオープン

LUMINE STREET(ルミネストリート)は、「いつもの道が、おいしい寄り道。」をコンセプトに、ルミネ有楽町でこれまで提供しきれていなかった「食」のショップを充実させ、駅で楽しむルミネならではの新しい過ごし方と食空間を提案するエリアです。

短時間でも気軽に立ち寄れ、忙しい毎日の中でリフレッシュできる空間づくりを目指しました。内装では、壁面に再生材料を約60%使用したリサイクル内装ボードを採用し、環境負荷の軽減に配慮。さらに、汚れや傷に強い不燃メラミン化粧板、シート貼り可能なアルミ素材の収納扉などを用いることで、修繕・貼替え頻度を抑えながら、ショップの世界観になじむ美しいデザインを実現しました。



身体と地球、そして地域の未来をやさしく"むすぶ"

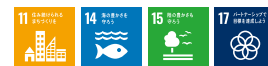
大宮駅東口に「ムスブルミネ」グランドオープン

サステナブルな「食」がテーマの商業空間「ムスブルミネ」が大宮駅東口に誕生。埼玉県産の木々が広がる前庭と木造2階建ての空間は、環境に寄り添う新しい市中展開の施設です。お粥など身体に優しいメニューを楽しめるカフェや、お客さまと一緒にフードロスへの取り組みを目指す量り売りの八百屋が並びます。

埼玉県内でのレストラン運営実績を持つ有限会社SLBカンパニーが運営。大宮市場直送の新鮮な魚介・地酒・地元野菜など埼玉の恵みを生かした季節の料理を提供し、身体と地球、そして地域の未来をやさしく"むすぶ"場を目指しています。



8. COMMUNITY&CULTUREの取り組み



セカイに恋するPOPUP

GLOBAL LINK presented by LUMINE初開催



シンガポール、ジャカルタに拠点を持つルミネが世界で見つけた魅力的なアイテムをお届けするPOPUPをニューマン高輪で開催。第一弾として、シンガポール、インドネシア、タイのトレンドをキュレーションし、日本では出会えないデザインのファッションアイテムが人気を博しました。

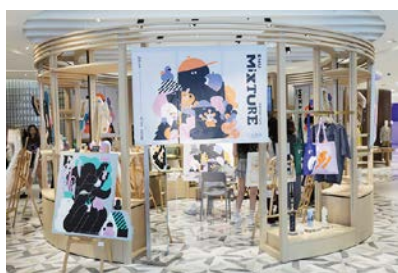
また、世界のカルチャーを感じられるスペシャルイベントもお届け。バリ在住アーティストによるライブペインティングやタイのお守り作り体験など、世界と日本がリンクする場となりました。今後も、世界と日本をつなぐハブとして国内外の拠点を連携させたグローバルネットワークの構築を進めていきます。

ルミネシンガポールで出会うグローバル×ローカル

ルミネのグローバル旗艦店・ルミネシンガポールにて、京都市とコラボレーションしたPOPUP「THE KYOTO Tradition Transformed」を開催。シンガポールにも拠点を持つルミネならではの視点から、座面に西陣織を用いたスツールや、御簾(みす)をあつらえたカバンなど、伝統産業を現代のライフスタイルに合わせて再構築した新商品を開発して販売しました。また、現地バイヤーを招いた交流イベントも初開催。シンガポールにおける販路拡大を見据え、現地のニーズについて意見交換を行いました。ルミネは、今後も日本各地のものづくりを世界に発信する取り組みを続けていきます。

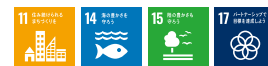


LUMINE meets ART in Singapore 初開催



LUMINE ART FAIR 2024・2025オーディエンスアワードを2年連続受賞したアーティスト・EMUさんの展示会「EMU EXHIBITION “MIXTURE”」をルミネシンガポールにて開催。2012年よりスタートしたLUMINE meets ART PROJECT初の海外展開となりました。会期中には、現地の顧客さまやアート関係者を招いたレセプションイベントや、EMUさんによる似顔絵ワークショップも実施し、幅広い国籍や年齢のお客さまにアートを楽しんでいただきました。ルミネは、グローバル旗艦店ルミネシンガポールを中心に、アートを通じて日本と世界をつなぐ新しいコミュニティを創出していきます。

8. COMMUNITY&CULTUREの取り組み



ルミネ立川 ローカルデザイン事業 立川市と連動した来訪者回遊促進施策

2024年度より、ルミネ立川は東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」に参画し、立川市内の来訪者の回遊性向上と立川市民のQOL向上を目指した取り組みを継続的に行っています。

2026年1月には、立川市内の美術館「PLAY! MUSEUM」とコラボレーションを実施。同館の展示「リサ・ラーソンの作り方展」と連動し、廃棄予定だったルミネの過去のポスターの端切れを使ったワークショップを開催しました。

「PLAY! MUSEUM」との相互送客施策を行うことで立川市の魅力発信と来訪・回遊促進につなげるとともに、ワークショップを通して廃材のアップサイクルも実現しました。

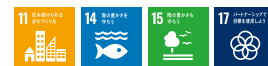


ルミネ荻窪 中央線エリアのカルチャー波及と 地域活性化を目的としたイベント「中央線文化祭」

ルミネ荻窪は、地域特性を活かし、沿線カルチャーの発信と地域活性化を目指すイベント「中央線文化祭」を開催しました。自治体や地元企業、沿線にゆかりのあるクリエイターなど、多様なステークホルダーと連携しながら、ルミネ荻窪が主導して継続的に実施。ライブやマーケット、ワークショップ、展示など、回を重ねるごとに企画内容や規模を拡充してきました。地域に根差した人や店舗、文化資源をつなぐことで、来館者が中央線沿線の魅力に触れる機会を創出。継続的な開催を通じて、ルミネ荻窪が地域と共に文化を育み、発信する拠点となることを目指し、地域の新たな魅力発信と活性化に貢献しています。



8. COMMUNITY&CULTUREの取り組み



ルミネ町田

町田市立忠生小学校と協業した地域連携イベント 「ぎゅっと!まちだフェス」

ルミネ町田は、町田市立忠生小学校の6年生と協業し、ルミネで回収した衣類から生まれたアップサイクル品を販売しました。子どもたちとともに衣類の循環やものを大切に使う価値を考え、地域のお客さまに発信しています。また、町田山崎団地の駄菓子店「ぐりーんハウス」の出張販売や、町田市観光コンベンション協会が運営する観光案内所による地元製品の販売、地元人気スイーツ店のPOPUPも実施。地域の事業者や団体と連携し、町田ならではの魅力も多面的に発信しました。若手社員を中心に推進した地域連携拡大の取り組みは、今後も続けていきます。



ニューマン新宿

街とつながる屋外体験型イベント

「SHINJUKU Marche Park Produced by BEAMS」

ニューマン新宿として初となる屋外体験型マーケットを、新宿高島屋・新宿区・商店会と連携して開催しました。本イベントをプロデュースした、BEAMS CREATIVEとともに、公園のように気軽に安心感がありながら、感度の高い都市生活者にも響く空間を演出。バスケットボールやモルック、ワークショップ、マーケットなど、大人も子どもも思い思いに楽しめる体験型コンテンツを用意しました。館の外へにぎわいを広げることで、街を歩くお客さまと自然につながり、ニューマン新宿が地域や日常に開かれた場所であることを伝える機会となりました。



9. ThePlanetの取り組み



ThePlanet

100年先の豊かな未来のために



カーボンフットプリント可視化による 消費者の行動変容を検証する実証実験 第2弾



対象商品の製造・流通過程で発生するCO2排出量を可視化することで、お客さまの行動変容につながるかを検証する実証実験を、他社と協業し2025年4月に実施しました。

2024年に続く第2弾となる今回は、ルミネ8館内のマッシュスタイルラボ「SNIDEL」8店舗で展開。ショップスタッフによる接客を通じた情報提供を重視し、前回の約7倍となる3,000人以上のお客さまにご参加いただきました。実施後のアンケートでは、「デザインで選んだが、CO2排出量の可視化によりさらに好印象を持った」「購入時の気分が良くなる」といった声が寄せられました。接客の中で環境情報を伝えることで、お買い物体験への満足度向上につながる可能性が確認できました。

コンシェルジュ制服を通じたサステナブルな取り組み

サステナブル素材を利用した コンシェルジュ制服の制作

ペットボトルや使用済み衣料品などのポリエステル製品を回収・再生して作られた「リサイクルポリエステル糸」を使用したサステナブルな制服を制作しました。従来のポリエステルと同様の品質を持ちながら、原料となる石油の使用量を削減し、廃棄物削減にも貢献できる環境に優しい素材の制服は毛玉になりにくくストレッチ性のある着心地の良さ・日頃のお手入れのしやすさ・普遍的なデザインにこだわり、長く着用できる仕上がりになりました。



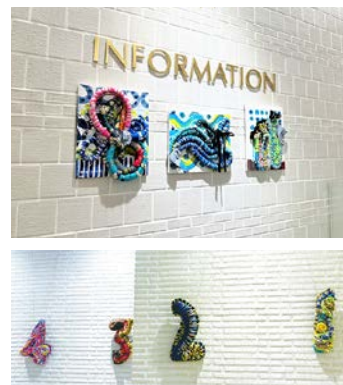
ルミネ



ニューマン

廃棄制服を活用した取り組みと ワークショップの実施(ルミネ北千住)

着用し終えたコンシェルジュの制服をリサイクルして、新たにデザインした椅子をルミネカードカウンターに設置しました。また、制服が他の商品に生まれ変わる過程をお客さま向けのワークショップで作成したパーツはアートボードやルミネカードカウンターの待ち席番号として館内に設置しました。お客さまからは「気軽にアップサイクルの体験ができて楽しかった」といったお声をいただきサステナブルを身近に感じていただいた取り組みとなりました。



9. ThePlanetの取り組み



サステナブルファッションの認証プロジェクト「Re-Creation」と協業した体験型イベント



ルミネ横浜・ニューマン高輪では、サステナブルファッション認証プロジェクト「Re-Creation」と連携し、体験型イベントを開催しました。

ルミネ横浜では、著名人の“思い出アイテム”をテーマに、仕事の相棒であるスーツケースや、家族から譲り受けたドレス・バッグなどを東口ウィンドウで展示しました。

ニューマン高輪では、長年愛用されているアイテムやサステナブルブランドの商品展示に加え、トークイベント、認証アイテムの販売、リメイク制作体験などを実施しました。ファッションアイテムの選び方を楽しみながら考える機会を提供し、高輪ゲートウェイシティが目指す100年続く街づくりにもつながる新たな体験価値を提案しました。

インフルエンサーによる スペシャルフリーマーケット

ルミネ横浜・ルミネエスト新宿では、外部パートナーと協業し、インフルエンサーによるフリーマーケットを開催しました。

会場では、インフルエンサーの私物や古着を販売したほか、チェキ撮影や直接コミュニケーションが取れる企画を実施。憧れの人が大切にしてきたアイテムに触れる体験を通じて、ファッションの循環を身近に感じていただくとともに、古着の新たな価値や魅力を伝える機会となりました。



9. ThePlanetの取り組み



ルミネ大宮

遮熱断熱塗料活用によるエネルギー消費削減



ルミネ大宮では、日射の影響を受けやすい空調室外機に遮熱断熱塗料を試験導入し、塗装前後の電力量を比較検証しました。

結果、夏季最大16.4%、期間全体で14.9%の電力量削減を確認しました。空調設備の効率的な運用による省エネルギー化を目指し、今後は検証結果を踏まえながら、他館への展開も検討していきます。

ニューマン横浜

廃タイルのアップサイクルで作る共用通路デザイン

ニューマン横浜では、共用通路の改修にあたり、既存の廃タイルをアップサイクルし、新たなデザインとして再生しました。単に新しい通路へ更新するのではなく、開業時からのコンセプトデザインを受け継ぐことを大切に、地元企業「パーフェクトウォッシュ」と協業してデザインを検討しました。砕いた廃タイルを敷き詰めるクラッシュタイルと、樹脂で固めるテラゾータイルの手法を組み合わせることで、ニューマン横浜が開業時から大切にしてきたこだわりやコンセプトを活かしながら、廃棄予定だったタイルを新たな共用通路としてよみがえらせました。



ルミネ池袋

衣料廃棄に新たな価値を。循環する館内植栽



ルミネ池袋では、「TUIN greenery」と連携し、ポリエステル繊維をリサイクルした土「TUTTI®」を館内植栽の一部に採用しています。「TUTTI®」は、本来廃棄される衣料品のポリエステル繊維を活用した培地で、土に代わる素材として植栽に使用することができます。廃棄衣料を資源として活用し、館内環境の整備に取り入れることで、衣料品の新たな価値を生み出す取り組みを進めています。

9. ThePlanetの取り組み



ゼロカーボン・チャレンジ2050

ルミネは、JR東日本グループとして2030年度カーボンハーフ、2050年度にはCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボン・チャレンジ2050」の実現に向け、省エネの促進やクリーンエネルギーの導入を進めています。2024年度から開始したルミネ本社を含む全拠点の電力100%クリーンエネルギー化(*1)を継続し、2025年度は「グリーン電力証書」「非化石証書」を利用した電力や「太陽光発電によるオフサイト型コーポレートPPA」、「Jバイオフードリサイクル」由来の電力の導入により、ルミネで使用する全エネルギーの約81.1%・33,251(t-CO2)を削減することができました。



*1 2024年3月27日リリース https://www.lumine.co.jp/newsrelease/pdf/release_240327.pdf

太陽光発電による オフサイト型コーポレートPPA導入

ルミネ横浜では、排出される食品廃棄物を活用した「Jバイオフードリサイクル」由来の電力に加え、「太陽光発電によるオフサイト型コーポレートPPA」を2025年2月より導入。

今後もよりクリーンなエネルギーを活用し、脱炭素社会への取り組みを前進させ、100年先の未来に向け、環境と社会にポジティブな変化を追求して参ります。

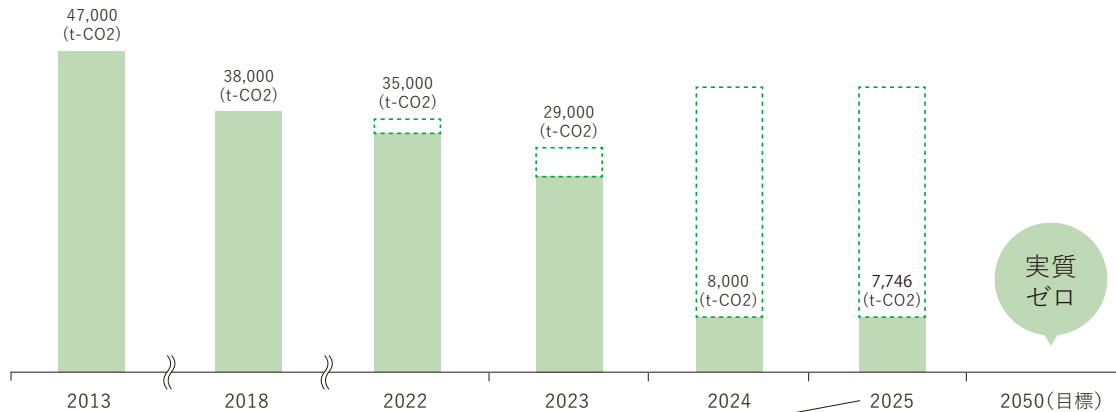


9. ThePlanetの取り組み



ゼロカーボンに向けたロードマップ

エネルギー使用によるCO2排出量推移



〈2025年度実績〉

全体のCO2排出量のうち、クリーンエネルギー化に向けた各メニューの使用実績は次の通りです。

- 「グリーン電力証書」「非化石証書」を利用した電力:28,640(t-CO2)
使用箇所:全拠点
※太陽光発電によるオフサイト型コーポレートPPA導入のルミネ横浜を除く
- カーボンオフセット都市ガス(*1):4,611(t-CO2)
使用箇所:ルミネ大宮、ルミネ北千住、ルミネ池袋、ルミネ新宿(L1)、ルミネエスト新宿、ルミネ立川、ルミネ横浜

*1 カーボンオフセット都市ガスとは

https://eee.tokyo-gas.co.jp/solution/carbon_offset/index.html

都市ガスのライフサイクルで発生する温室効果ガスの全部または一部を、国内外の様々なプロジェクトで削減・吸収したCO2で相殺すること(カーボンオフセット)により、地球規模での温室効果ガス削減に貢献可能な都市ガス

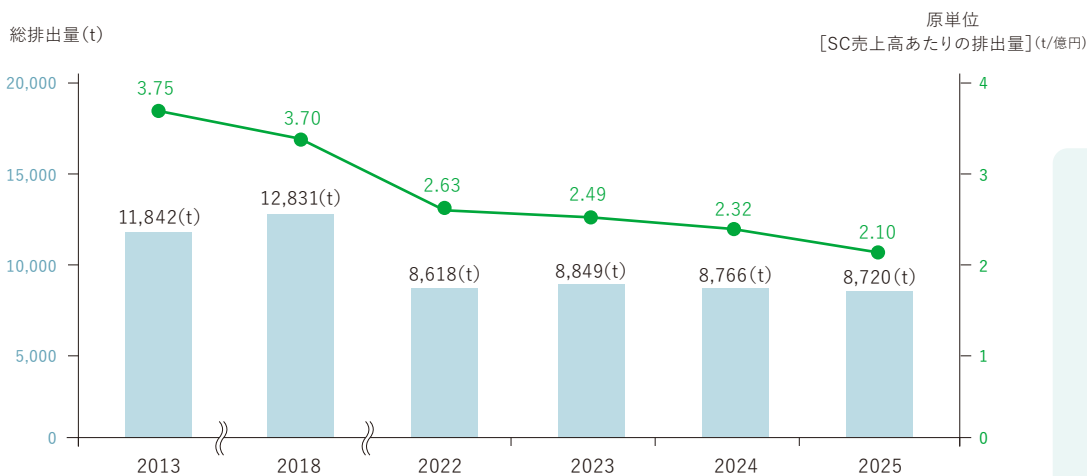


資源使用実績

ルミネは、資源使用実績を把握し、排出量削減・リサイクル促進に努めています。

廃棄物排出量の推移

●原単位(t/億円) ■総排出量(t) *2025年度より原単位集計方法変更



〈2025年度廃棄物リサイクル率〉 *サマールリサイクル含む

年度	一般廃棄物			産業廃棄物		
	発生量(t)	うち再生量(t)	リサイクル率(%)	発生量(t)	うち再生量(t)	リサイクル率(%)
2025	7,390	4,811	65	1,329	833	63

リサイクルtopics

〔食品リサイクル〕

ルミネ・ニューマン13館(*1)で発生する食品廃棄物は(株)バイオフードリサイクルによるバイオガス発電に、その他1館(ルミネ町田)では飼料に再利用されています。

※13館
〔ルミネ大宮、ルミネ北千住、ルミネ池袋、ルミネ有楽町、ルミネ新宿、ルミネエスト、ルミネ立川、ルミネ横浜、ルミネ荻窪、大船ルミネウイング、ルミネ藤沢、ニューマン新宿(サナギのみ)、ニューマン高輪〕

10. サステナビリティの歩み

ルミネのサステナビリティの取り組みは、環境推進活動からスタートし、100年先の豊かな未来の実現に向けて挑戦し続けています。

2011以前～

全館において、屋上緑化やLED導入、食品・水資源リサイクルなど、環境負荷を減らすビル運営をはじめました。その歩みは、社内外の意識を高める環境推進プロジェクト「choroko(チョロコ)」や、日本のものづくりを支援・発信する「ココルミネ」へと広がり、地域や社会との共通価値の創造へ発展しています。現在では、その視点をさまざまな事業やプロジェクトに引き継ぎ、100年先の豊かな未来を見据えた新しいライフバリューの創出に挑戦し続けています。

2016

■農業体験課外活動

里山保全や有機農法に先進的に取り組む埼玉県小川町下里地区で、農業体験を実施しています。現在は、社員の課外活動にとどまらず、現場課題を体感し、サステナブルな未来価値の創出につなげるフィールドワークとして継続しています。



2021



サステナビリティ方針

「WE ILLUMINATE THE FUTURE

わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」

環境や社会課題に対する取り組みを経営戦略として捉え、サステナビリティ方針を策定。「お客さまの思いの先をよみ、期待の先をみだす」ライフバリュープレゼンターとして、サステナビリティ方針のもと各店においても様々なアクションがスタートしました。

2022

■ルミネサステナビリティアワード初開催

社内のサステナビリティの取り組み好事例の共有と、継続的な展開・推進を目的に、「ルミネ サステナビリティ アワード」を2022年度から開催。

2024

新たな10年ビジョンと中期経営計画

「SPIRAL2027 ～Global & Sustainable～」を策定

■ルミネ・ニューマン エシカーニバル

値引き販売だけにフォーカスするのではなく、「季節を楽しみ尽くす」「季産季消」をコンセプトに楽しくエシカルに取り組む新しいショッピングの形を提案しました。

■anewloop

ファッションアイテムを買取・回収してリユースやリサイクルを行なう、循環型のファッションビジネスを目指した資源循環サービスをルミネ・ニューマン全店で開始しました。

■電力100%クリーンエネルギー化

ルミネ本社を含む全拠点で環境価値証書を利用した電力や「Jバイオフードリサイクル」由来の電力の導入により電力100%クリーンエネルギー化を開始しました。

■第1回 ルミネ サステナビリティ推進会議 開催

パートナーとの共創を通じて100年先の心豊かな未来を実現することを目的に、サステナビリティ推進会議を初開催しました。

2025

■ルミネ横浜に「太陽光発電によるオフサイト型コーポレートPPA」導入

■コスメ回収アップサイクルキャンペーン

ルミネ・ニューマン各館で不要になったコスメを回収し、分別・アップサイクルへとつなげる「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」を実施。体験を通じて、コスメを新たな価値へと生まれ変わらせる循環の取り組みをスタートしました。

■第2回・第3回 ルミネ サステナビリティ推進会議 開催

第2回は「オーガニックコスメとウェルビーイング」、第3回は「エシカル消費とお客さまコミュニケーション」をテーマに設定し、出店ショップや有識者と共に、課題解決に向けて事例の共有や意見交換を行いました。



LUMINE

株式会社ルミネ
サステナビリティ
2025年度 活動レポート

2026年7月発行

株式会社ルミネ
〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-2-2
JR東日本本社ビル10階

<https://www.lumine.co.jp/>